

日付	新聞、雑誌名	内 容
03/04/25	神戸新聞	ひと未来館内覧
03/04/25	産経新聞	ひと未来館記念式典
03/05/12	読売新聞	アジアの防災意識を向上
03/05/18	読売新聞	トルコへスタッフ派遣
03/05/21	神戸新聞 朝刊	人防センター開館1年 入館者倍増めざす
03/05/30	神戸新聞 朝刊	防災世界会議を誘致
03/06/04	神戸新聞 朝刊	伊藤滋インタビュー「復興のあしたへ」欄
03/06/11	神戸新聞 朝刊	アジアの防災で情報交換（17カ国参加・神戸でワークショップ）
03/06/11	朝日新聞 朝刊	国際防災会議 アジア各国の取組報告
03/08/28	朝日新聞 朝刊	関東大震災から80年 都市の備えは（伊藤滋センター長談）
03/11/15	神戸新聞 夕刊	国境越え災害援助を 神戸でシボ INSARAG
03/11/16	読売新聞 朝刊	国際的災害救援考える INSARAG
03/11/28	神戸新聞 朝刊	海外の専門家招き防災フォーラム
03/11/29	神戸新聞 朝刊	震災9年事業順次スタート 追悼、防災・・・各地で
02/12/02	神戸新聞 夕刊	国際防災フォーラム開幕
02/12/02	朝日新聞 夕刊	災害教訓テーマ神戸で会議開幕
03/12/02	毎日新聞 夕刊	アジアの防災で連携 神戸で国際会議開幕
03/12/02	読売新聞 夕刊	神戸で国際防災フォーラム開幕
03/12/03	神戸新聞 朝刊	国際防災会議 1月18日内定
03/12/03	朝日新聞 朝刊	国際防災会議 神戸・淡路で '05年1月
03/12/05	毎日新聞 朝刊	国際防災会議で学校の役目報告
03/12/26	神戸新聞 朝刊	国際防災会議「大災害の教訓に学ぶ」
03/12/27	神戸新聞 朝刊	イラン地震
04/01/07	読売新聞 夕刊	着衣型機材で被災地中継
04/01/23	神戸新聞 朝刊	イラン地震救援のNGOや医師報告 27日神戸
04/01/28	神戸新聞 朝刊	イラン地震合同報告会
04/01/30	読売新聞 朝刊	震災対策技術展
04/02/07	NHK ニュース website	カンボジア会議
04/02/07	カンボジア新聞	カンボジア会議
04/02/21	読売新聞	イラン地震 研究集会に職員ら派遣

6-2 国際会議への貢献

メンバー国はもとより、国際機関、NGO等との有機的なネットワークを構築する観点から、以下の国際会議に出席しアジア防災センターのプレゼンスを高めるとともに、国際防災協力に関する関係機関との協議に参加した。

表 6-2-1 国際会議

会議名	期間	場所	参加者氏名	貢献
ISDR 第7回タスクフォース会合	03/4/9 ～11	ジュネーブ (スイス)	西川、角崎	'03年第1回 2003年 ISDR アジア会合成果発表、タスクフォースの構成団体として横浜レビューについて意見具申、'04年末または'05年の兵庫での国際会議の可能性を提起しロビーイング
SOPAC 南太平洋防災会議	03/5/5 ～8	フィジー	西川	アジアでの ADRC の取り組みと超高速インターネットを使った被災地映像把握手法についてプレゼンテーション
災害被害評価の共通手法開発ワークショップ	03/5/23 ～24	デルフト (オランダ)	吉村	東海地震の被害想定についてプレゼンテーション
ISDR 事務局主催 世界会議のためのブレインストーミング	03/6/26 ～27	ジュネーブ (スイス)	角崎	2005年開催の国連防災世界会議に向けて意見交換
GLIDE technical meeting	03/7/14 ～15	ジュネーブ (スイス)	西川、角崎、 荒木田	災害情報共有のための GLIDE の必要性について説明し、参加者の協力を要請
フィリピン・マリキナ市 防災技術展、ワークショップ	03/7/28 ～29	マリキナ市 (フィリピン)	吉村、中村	コミュニティの津波避難計画についてパネル展示及びプレゼンテーション
IFnet 設立総会	03/8/9 ～10	ストックホルム (スウェーデン)	西川	IFnet への ADRC 参加及び意見交換
第17回原子炉構造力学に関する国際会議	03/8/17 ～22	プラハ (チェコ)	栗田	不整形地盤が強震動の増幅に及ぼす影響についてプレゼンテーション
UNESCO 「分野横断的なテーマにおけるイニシアティブの中間会議」	03/9/25 ～26	パリ (フランス)	角崎	リソースとして会議に参加、「今後の活動への提言」のパネルディスカッションで、ラポーターを努めた
ヨーロッパ/地中海地域 防災会議	03/10/6 ～8	マドリッド (スペイン)	吉村	地震経済被害予測手法に係るプレゼンテーション
第2回早期警戒に関する国際会議	03/10/16 ～18	ボン (ドイツ)	西川、角崎、 芳永、児玉	ハザードマップの利用に関するセッションを主催するとともに、ポスターセッションに参加
NATECH 災害危機管理ワークショップ	03/10/20 ～21	イスプラ (イタリア)	栗田	日本における最近の地震被害について基調講演
ISDR 第8回タスクフォース会合	03/11/5 ～6	ジュネーブ (スイス)	西川、角崎	2005年1月に向けてのアジアでの取り組み紹介、GLIDE についての報告(2005年1月会議に向けてロビーイング)
INSARAG アジア太平洋会合	03/11/11 ～15	JICA 兵庫センター(神戸)	西川、荒木田	超高速インターネット衛星を利用した被災地映像把握手法他についてプレゼンテーション、公開シンポジウムにて阪神淡路大震災の国際救助の検証にパネリストとして参加

会議名	期間	場所	参加者氏名	貢献
日米科学技術宇宙応用会議(JUSTSAP)	03/11/15 ～18	ホノルル (アメリカ)	羽鳥	太平洋災害センター(PDC)や通信総合研究所(CRL)とアジア・太平洋地域の津波防災対策推進についての連携を協議
PDC 外部討議委員会	03/11/24 ～25	マウイ (アメリカ)	西川	外部評議委員としてPDCの今後の活動方針について助言、ADRCのTDRMについてプレゼンテーション(招待講演)
OCHA リリーフウェブ Spread the Word ワークショップ	03/11/28 ～29	バンコク (タイ)	荒木田	災害情報共有のツールとしてのGLIDEについてのプレゼンテーション
WSSI ワークショップ	03/12/7 ～8	バンコク (タイ)	角崎、石井	WSSIの今後の活動についてADRCとして要望を提案
ASEAN 防災委員会	03/12/9 ～10	バンダール・スリ・ブガワン (ブルネイ)	吉村	総合的な防災政策(TDRM)と国連防災世界会議についてプレゼンテーション
台風委員会	03/12/15 ～19	クアラルンプール (マレーシア)	西川	台風委員会メンバー国向け website list 作成を提案、TDRMについてプレゼンテーション、GLIDEについて説明
中央アジア環境災害軽減及び緊急対応に関する国際会議	03/12/18 ～19	キルギス国ビシュケク市	羽鳥	リスク・コミュニケーションツールとしてのハザードマップの作成と活用、ADRC 活動紹介について講演(招待講演)
ESCAP/OOSA 宇宙技術の防災利用ワークショップ	04/1/27 ～28	シンガポール (シンガポール)	荒木田	高速インターネット衛星通信技術を用いた早期被害把握について発表
韓国 NIDP 国際防災会議	04/02/11 ～13	ソウル (韓国)	西川	TDRMについて基調講演プレゼンテーション(招待講演)
ISDRの早期警戒プラットフォーム・プログラムに関するワークショップ	04/2/12 ～13	ボン (ドイツ)	角崎	03年10月開催の早期警戒に関する国際会議のフォローアップのため、ブレイクストーミングに参加
北東アジア地域自治体連合防災分科委員会	04/2/12	JICA 兵庫センター (神戸)	荒木田	アジア防災センターの活動及び各自治体の住民の防災意識高揚のための取り組みについて発表
自然災害軽減世界会議	04/2/19 ～22	デリー (インド)	サンカル	開発面での災害の影響に係るプレゼンテーション
防災に関するアジア国際機関会合	04/2/23 ～25	マニラ (フィリピン)	西川、吉村	TDRMについてプレゼンテーションと2005年1月国連会議を紹介
バム再建: 過去の復興プログラムから学ぶ	04/2/25 ～26	テヘラン (イラン)	栗田	阪神大震災以後進めた社会基盤の設計基準の改善についてプレゼンテーション
台風委員会 Hydrology 作業部会準備会合	04/02/27 ～28	ソウル (韓国)	西川、児玉	防災ハザードマップの必要性・有効性についてのプレゼンテーション及び国連防災世界会議の説明
第31回 WMO/ESCA サイクロン委員会	04/3/1 ～6	コロombo (スリランカ)	角崎	ADRCの活動についてプレゼンテーションおよびパネリスト参加
欧州委員会人道援助事務所防災プログラム東南アジア地域協議会	04/03/09	バンコク (タイ)	児玉	防災を国家政策に取り込む必要性についてプレゼンテーション

会議名	期間	場所	参加者氏名	貢献
ISDR Task Force WG3	04/3/9 ～10	ワシントン D.C. (米国)	吉村	持続的開発のための総合的な防災政策についてプレゼンテーション
GDIN ワシントン会議	04/3/25 ～27	ワシントン D.C. (米国)	西川	GLIDE についてプレゼンテーション
気象災害国際シンポジウム	04/3/29 ～30	香港 (中国)	西川	TDRM とハザードマップの有効性についてプレゼンテーション、パネルディスカッション (招待講演)
ADPC の第 4 回地域会合	04/3/29 ～31	ダッカ (バングラデッシュ)	角崎	ADPC の第 4 回地域会合にオブザーバーとして参加

※INSARAG アジア太平洋会合について

1. 趣旨

INSARAG (国際捜索・救助諮問グループ) は、国際捜索・救助チームが、被災国政府を支援し、他国の捜索・救助チームと協調・連携を図ることによって、効果的な活動が可能となるような体制作りを行うことを目的として組織された非公式な協議機関である。事務局は、ジュネーブを本拠地とする国連人道問題調整事務所 (UNOCHA) にある。

1988 年 12 月 7 日、アルメニア共和国 (旧ソ連邦内) で大地震が発生した際に、欧米各国の捜索救助チームがここぞとばかりに被災地に殺到し、同じ場所を何度も捜索したり、自国から連れてきたマスコミへの PR を重視したり、被災地で残った数少ない建物を占拠し地元の救援活動を阻害したり、また、捜索救助チームを乗せた飛行機が地震被害で管制塔が麻痺した地元空港に強行着陸し駐機中の飛行機と衝突し多大な犠牲者を出したりといった苦い経験の反省にたって、組織されたものである。

アルメニアのこうした教訓を踏まえて、UNOCHA が、国際緊急援助を実施している先進国および開発途上国に呼びかけた結果、1991 年に INSARAG が組織された。

毎年世界中で地震、洪水、台風など様々な災害が発生し、多数の犠牲者や家屋の損壊、甚大な経済的被害などをもたらしている。これらの災害に対し、現在 INSARAG は、各国の国際捜索・救助チームが、効果的かつ効率的に活動できるような体制づくりを行っているところである。

INSARAG は、世界をアフリカ・欧州地域、アジア太平洋地域、米州地域の 3 つの地域グループに分け、日本は、現在 INSARAG アジア・太平洋地域グループの議長国であり、アジア・太平洋地域において、主導的な役割を果たすことが期待されている。INSARAG は各地域内別に毎年 1 回定期会合を開催しており、昨年度は中国上海で開催され、2003 年今年度は 11 月 13 日～15 日に、阪神・淡路大震災で被災した神戸において、アジア・太平洋地域の国々・地域などを招待して、同地域会合を開催し

た。またそれとともに、「災害救援と阪神・淡路大震災の教訓」をテーマとした国際シンポジウムを開催した。

今回の会議には、アジア防災センターからは西川所長と荒木田主任研究員が参加、2日目の午前には兵庫県災害対策センターにて、超高速インターネット衛星を利用した被災地映像把握手法（RISCS : Realtime Image Sharing system with ultrahigh-speed Communication Satellite）について、その目的とシステムの概要、デモンストレーション映像についてプレゼンテーションを行った。また、翌15日の国際シンポジウムには、西川所長がパネリストとして参加、災害援助に係る世界共通のガイドラインの必要性などについて発言した。

2. 会議参加者

韓国、中国、モンゴル、台湾、フィリピン、マレーシア、インドネシア、ベトナム、カンボジア、ブルネイ、シンガポール、オーストラリア、NZ、フィジー、PNG、トンガ、インド、ネパール、パキスタン、USA、オランダ及びアジア防災センター(ADRC)、国連人道問題調整事務所(OCHA)他合計約90名

3. 会議日程

2003年11月13日： 本会議

2003年11月14日： RISCS（Realtime Image Sharing system with ultrahigh-speed Communication Satellite）視察
人と防災未来センター視察
午後本会議

2003年11月15日： 午前国際シンポジウム



(RISCS デモンストレーションの様様1)



(RISCS デモンストレーションの様様2)



(シンポジウム)